

三重の姿・かたち 2017年度版

○2~3月 春闘で要請します「全労働者の賃上げ、生活向上をめざす」
 <要請先>県内に本社の大企業と銀行(7)経営者団体(2)商工会議所(8)医師会・JAなど(3)
 ○5~7月 憲法キャラバン「9条・25条・26~27条・第8章の事前アンケート結果」で懇談。
 <要請先>三重県と14市15町の半数の首長(副)や幹部職員約120名の方と
 ○11月 自治体キャラバン「憲法を行政の半数と34分野200項目の事前アンケート結果」で懇談。
 <要請先>自治体77部門(三重県・14市15町と教育委員会・16自治体病院)

消えた白線アンケートもとに懇談



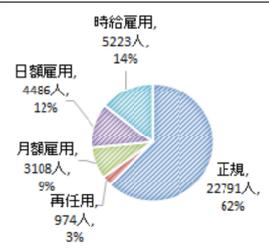
上 三重県警・交通部
 右 国土交通省三重河川
 (詳細は裏面に)

1 3人に1人が非正規職員

(自治体で働く職員の状況)

2 市町村合併、正規10%減・非正規20%増

①雇用の状況



②自治体雇用の総職員数 (人)

○総職員数
 H28年度 36,373
 H29年度 36,582
 うち女性 19,773 [54.1%]
 ○非正規職員数 非正規率
 H28年度: 13,522 (37.2%)
 H29年度: 13,791 (37.7%)
 うち女性: 10,656 [77.3%]
 () は非正規率 再任用含
 【 】 は女性職員の割合

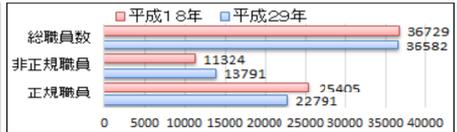
③非正規率ランキング (%)

- 川越町 65.3
- 紀宝町 57.1
- 菟野町 56.4
- 明和町 55.9
- 東員町 55.3
- 玉城町 52.2
- 亀山市 50.2
- 7自治体 40%台
- 9市町 30%台
- 8市町

④進まない雇用率

○障がい者法定雇用率
 2.3%未達成の市町
 木曾岬町 朝日町
 菟野町 亀山市
 明和町 伊勢市
 志摩市 尾鷲市
 紀宝町 紀宝町
 計 10市町
 (前年度 9市町)

①市町村合併後の職員数比較 (人)



○職員数の増減 正規 2,614人減・非正規 2,467人増
 ○正規職員の削減数上位
 津市 (△587人) 桑名市 (△410人) 鳥取市 (△322人)
 伊勢市 (△255人) 志摩市 (△245人) 伊賀市 (△209人)

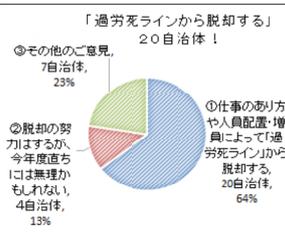
3 正規職員減が過密労働・過労死ライン改善へ

4 セーフティネットと対応職員数

①時間外労働の実態は

・月80時間以上 17自治体 1166人
 ・月100時間以上 16自治体 667人
 (下位3)
 三重県 (700) 四日市市 (210)
 津市 (196)
 (厚生省の過労死認定基準は「発症前1ヶ月100時間、6ヶ月平均 80時間」)

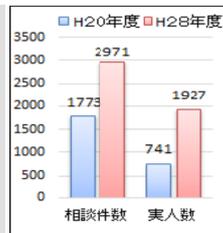
②2017年憲法アンケート



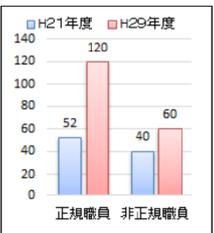
①保健師は(H21⇒H29年)

<職員数>
 正規 452⇒499 嘱託 9⇒4
 臨時 11⇒43
 計 472⇒546
 <保健師一人当たりの人口>
 3,000人未満 16市町 3,000人台 7市町
 4,000人台 3市町
 桑名市 5,069人 鈴鹿市 6,214人
 四日市市 7,665人

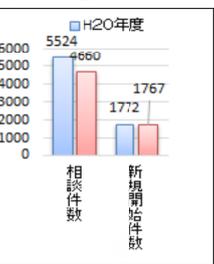
②児童虐待件数は



③対応職員数は



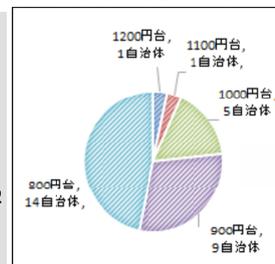
④生活保護件数



⑤ケースワーカーの受持数比較と増減

○()内H20年度の担当世帯数・+は担当職員増減数 (*来年度増員予定)
 四日市市 93世帯(111)+12* 鈴鹿市 63世帯(97)+5
 津市 90世帯(108)+12* 熊野市 60世帯(84)+1
 松阪市 88世帯(81)+5 志摩市 60世帯(71)+2
 名張市 85世帯(76)+2 尾鷲市 57世帯(60)
 伊賀市 81世帯(97)-1 鳥羽市 43世帯(67)
 桑名市 81世帯(90)+4 いなべ市 38世帯(35)
 亀山市 78世帯(51)+1 多気町 32世帯 +2
 伊勢市 76世帯(80)+1 三重県 65世帯(59)-1
 (1人当たり配置基準: 市80世帯、県65世帯)

①臨時事務職の時給(一時金合)



②臨時事務職の推定年収 低い順 (円)

○時給 低い順
 松阪市 800 明和町 800
 亀山市 810 鈴鹿市 820
 朝日町 824 四日市市 830
 名張市 830 川越町 830
 ○時給1000円以上の自治体
 1200円 度会町
 1100円台 尾鷲市
 1000円台 いなべ市 紀北町
 熊野市 御浜町
 三重県

6 深刻な保育士不足。処遇の大幅改善を!

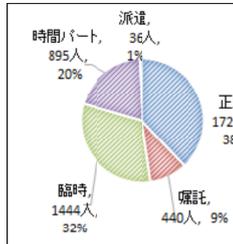
(1) 保育士の状況 (公立保育園)

③臨時(時給雇用)特別休暇

2009年度	2017年度
夏期休暇 6	夏期休暇 19
忌引き 11	忌引き 27
病欠 0	病欠 21
結婚 3	結婚 8
こどもの看護 2	こどもの看護 14
生理 1	生理 18
産前産後 4	産前産後 23
育児 1	育児 19
介護 0	介護 15

・夏季、忌引休暇は有給 (数字は自治体数)

①自治体保育士の雇用状況



②嘱託保育士の月額賃金

・嘱託制度あり 16自治体 <○印 加算あり>
 15万円未満 紀北町
 15万円台 ○鳥羽市 ○木曾岬町
 16万円台 ○明和町 ○朝日町 ○玉城町
 17万円台 ○東員町 ○鈴鹿市 四日市市
 ○桑名市 ○川越町
 18万円台 度会町(6H) ○伊勢市
 19万円台 ○松阪市 20万円台 ○紀宝町
 23万円台 度会町(8H) 25万円台 ○御浜町

③臨時保育士の時給(一時金合)

<○印 加算等あり>
 800円台 大紀町 志摩市 ○伊賀市
 900円台 木曾岬町 東員町 南伊勢町
 ○四日市市 紀北町
 1,000円台 鈴鹿市 川越町 ○亀山市
 ○多気町 ○御浜町 玉城町
 大台町 紀宝町 ○桑名市
 1,100円台 ○いなべ市 ○名張市 鳥羽市
 ○熊野市
 1,300円台 度会町

(2) 安心して保育できるよう、保育士の処遇改善を!

(3) 公的責任で保育・学童保育の充実を

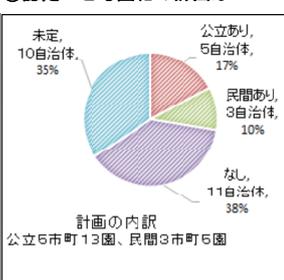
①公立の非正規保育士の処遇改善策

いなべ市 経験による昇給の上限を10年までに改善
 東員町 経験年数による昇給、年休・夏季特別休暇の付与
 亀山市 賃金の改定他市の状況を勘案し検討
 松阪市 賃金体系の改正
 伊勢市 賃金単価改定・経験年数による加算・クラス担任手当加算
 御浜町 賃金改正し、経験年数加算など

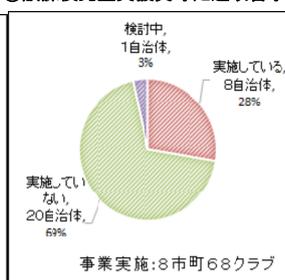
②民間保育士の処遇改善

桑名市 低年齢児担当及び障がい児担当保育士の人件費補助
 四日市市 運営費補助金として公私格差手当・研修手当を助成
 松阪市 勤続報奨金の支援
 伊勢市 公定価格以上に職員の処遇向上に係る経費を支出している園に対し補助金
 なし 20市町

①認定こども園化の計画は?



②放課後児童支援員等処遇改善事業の実施は?

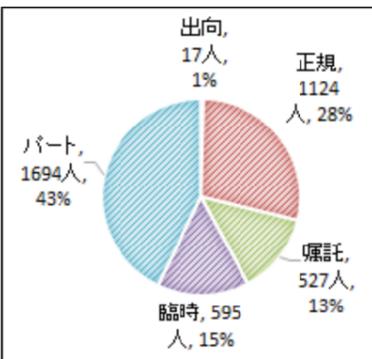


・事業を実施
 津市 26クラブ
 鈴鹿市 18クラブ
 松阪市 13クラブ
 亀山市 5クラブ
 熊野市 3クラブ
 川越町 1クラブ
 御浜町 1クラブ
 ・検討中
 四日市市

7 社協、障がい者施設など福祉を支える労働者の実態

(1) 社会福祉協議会

社協の雇用状況(28市町と県)



非正規率ランキング

1 亀山市	84.0%
2 四日市市	83.4%
3 紀宝町	82.4%
4 志摩市	81.8%
5 尾鷲市	80.0%

(非正規率
80%以上の社協)

ヘルパーの時給

<パート>

800円台	いなべ市 (~1,500円)
	松阪市 玉城町
900円台	四日市市 (~1,250円)
	尾鷲市 (~1,300円)
	御浜町
1,000円台	東員町
1,100円台	紀北町
1,200円台	志摩市 (~1,800円)

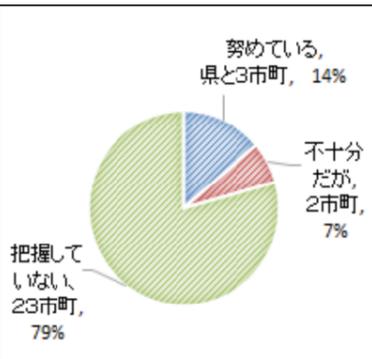
<登録>

700円台	熊野市 (~1,200円)
800円台	木曾岬町 (~1,500円) いなべ市 (~1,500円)
900円台	大台町 南伊勢町
1,000円台	川越町 津市 伊賀市 (~1,500円)
1,100円台	鈴鹿市 松阪市 多気町 紀北町 紀宝町
1,200円台	桑名市 伊勢市 度会町
1,300円台	鳥羽市 菟野町 大紀町 御浜町
1,400円台	東員町

(2) 障がい者施設

8 動きだすか公契約条例

状況把握



自治体独自の障がい者施策

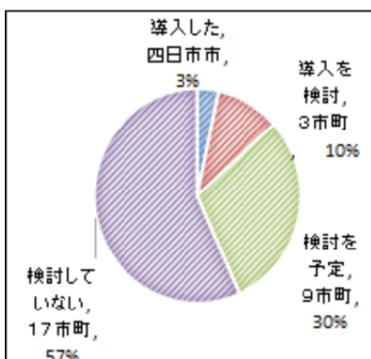
施設利用者の独自補助

- ・独自施策をもっている 9自治体
- ・もっていない 21自治体

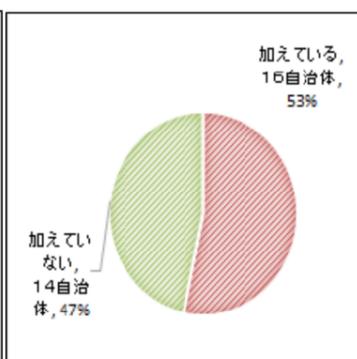
指定施設への独自助成

- ・独自施策をもっている 9自治体
- ・もっていない 20自治体
- ・不明 1自治体

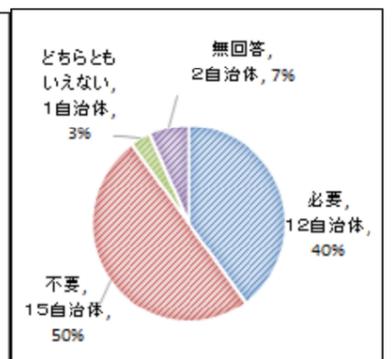
公契約条例の検討を



建退共制度への加入を



元請け企業への条例義務付けは



9 深刻な医師・看護師不足 (自治体病院の状況)

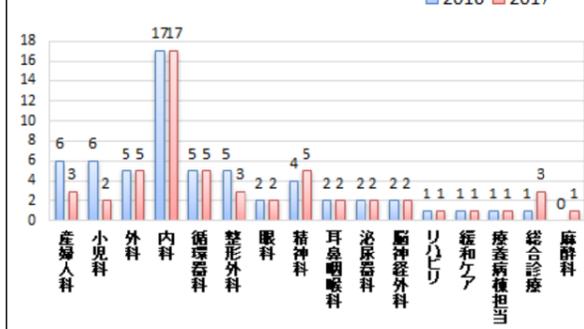
医師不足

- ・現在の医師数 583人
- ・不足医師数と診療科 16診療科55人
- ・医師不足の対策を取った病院 12病院 (16病院中)

医師不足による救急医療への影響

- ・休止 玉城病院
- ・制限 志摩市民病院 市立伊勢総合病院 紀南病院 県立志摩病院
- ・縮小 松阪市民病院

不足医師数と診療科



看護師不足の対策

- ・現在の看護師数 2,802人
- ・不足看護師数 65人
- ・看護師不足対策を取った病院 13病院 (16病院中)

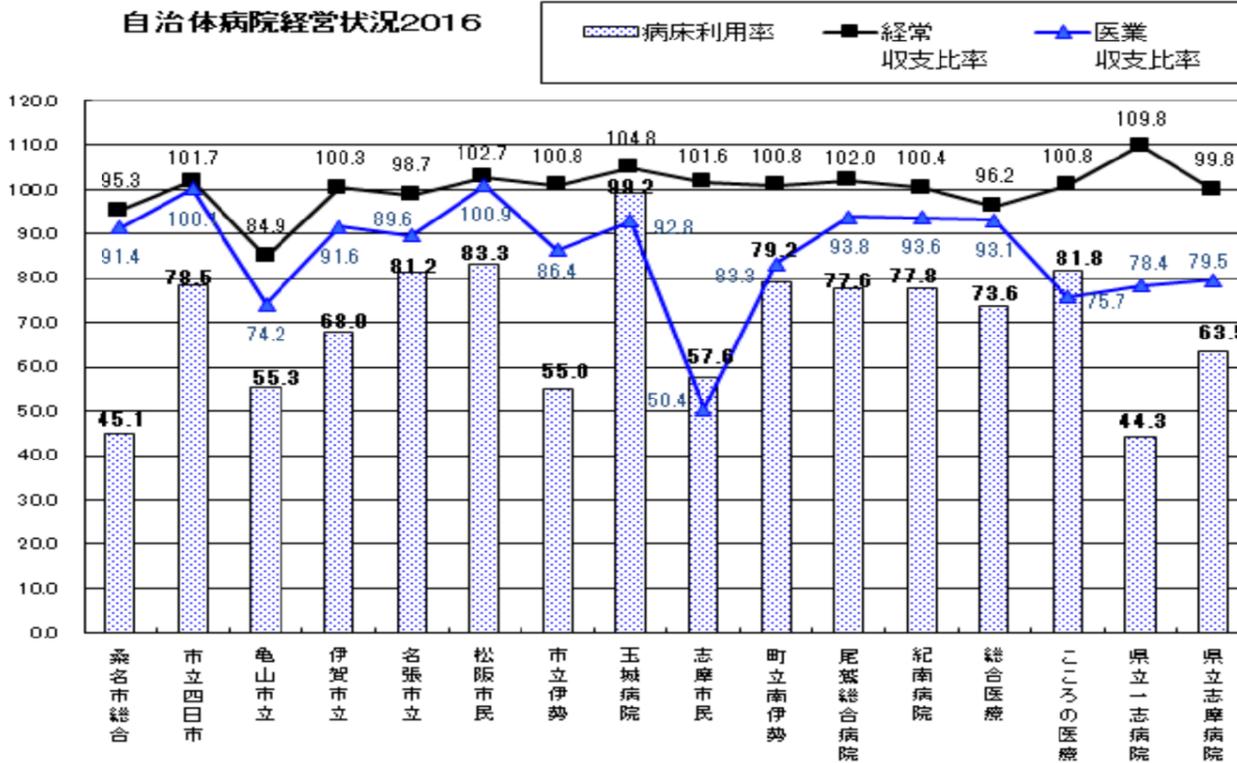
看護師不足の影響

- ・病床の削減 志摩市民病院 90 77
- ・病棟の閉鎖 町立南伊勢病院
- ・救急医療を
 - ・休止 県立志摩病院
 - ・一部休床 市立伊勢総合病院
- ・影響ない 8病院
- ・影響あり
 - ・市立四日市病院 (病床稼働率低下)
 - ・尾鷲総合病院

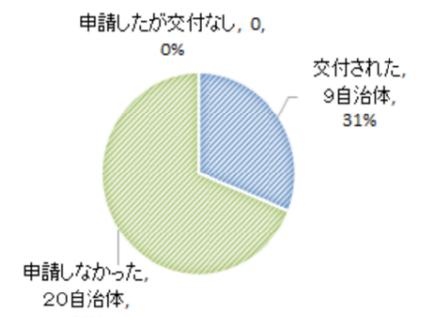
10 いのちと地域が危ない、国主導の「病床削減」「介護縮小」

11 人口減少・地方創生

自治体病院経営状況2016



地方創生推進交付金(2016年度)について



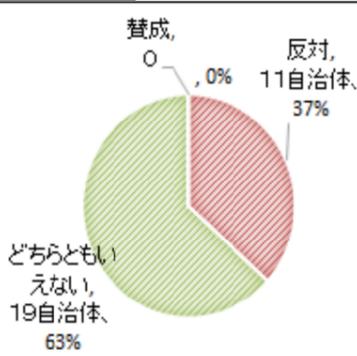
事業を実施した9自治体について

事業分野	仕事創生	7人	の流れ	4
	働き方改革	1	まちづくり	2
事業成果	上げた	8	不十分	0
	どちらでもない	1		
交付金額	足りている	7	不足	0
	どちらでもない	2		
人材について	足りている	5	不足	1
	どちらでもない	3		

12. 縮小する介護保険制度

「要介護」に制限が

今後、軽度(要介護1,2)の高齢者について新しい「総合事業」に移行が検討されていますが、そうした移行に賛成ですか、反対ですか。



特養への入所が「原則、要介護3以上」となりましたが、要介護1,2の場合であっても「事情により、特養以外での生活が著しく困難であると認められる場合、市町村の関与の下、特例的に入所を認める」として自治体の関与により認めた人数及び施設数。

2016年度
15自治体 40施設 (64名)
特養全体 17%

13 消えた白線アンケート

道路の白線は修繕進む?

みえ労連は17春闘で「白線アンケート」を3,000枚配布し、304人から回答がありました。結果をもとに30自治体と懇談「予算を増やす」と「補正での対応を予定」は3自治体、「検討」は20自治体で、23自治体で消えた「白線」補修の対応が進む予定です。

